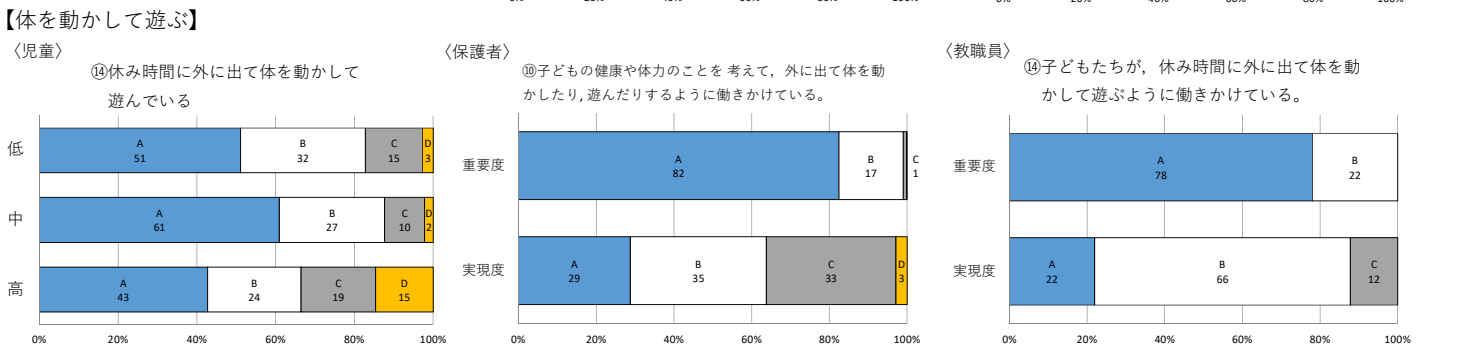
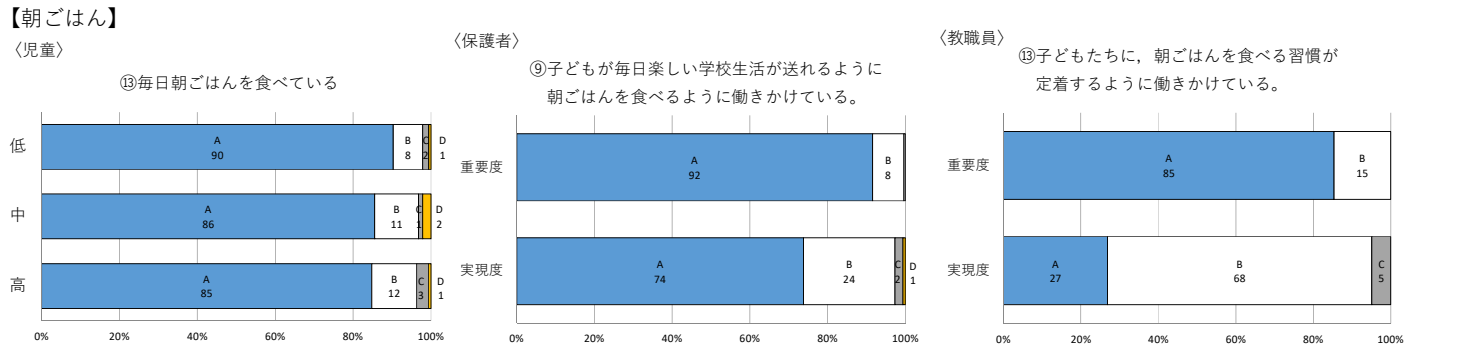
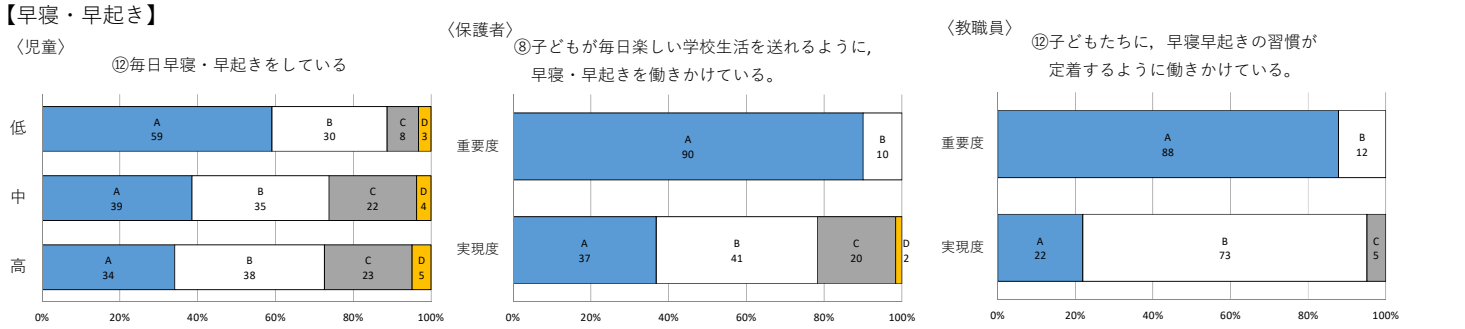
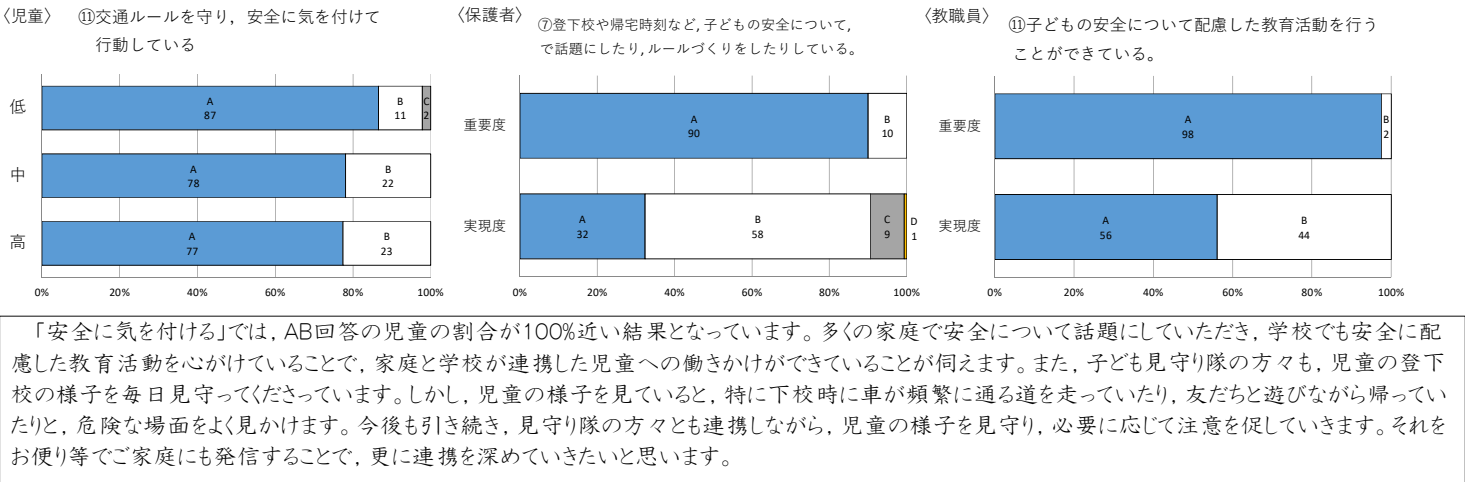


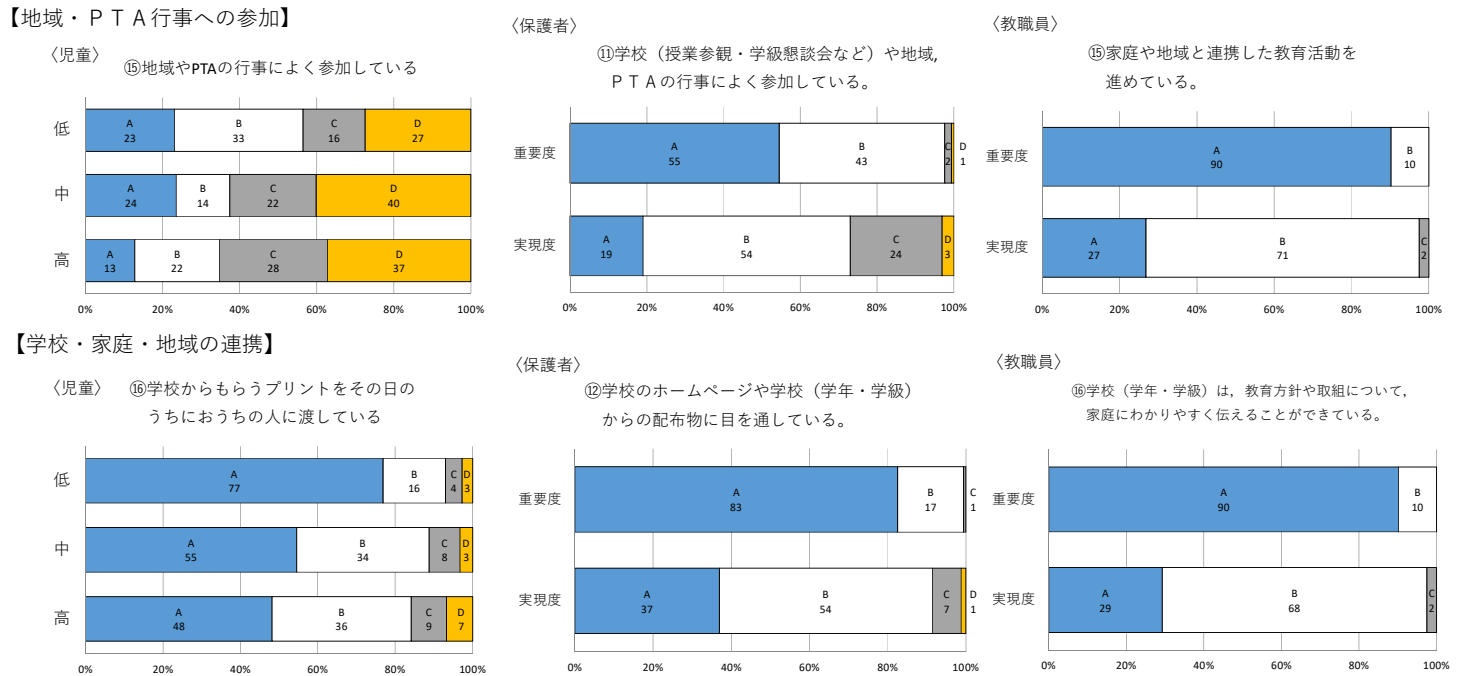
3 健やかな体【安全に気を付ける】



「早寝・早起き」については課題が見られます。学年が上がるにつれ、宿題や習い事、メディア(TV、ゲーム、タブレット)などに時間を費やすことが多くなっているため、就寝が遅くなり、起床も遅くなることがあるようです。また、「朝ごはん」についてCD回答の児童も、少なからずいることが分かります。早起きができていないため、朝食をしっかり摂ることができていないのだと思われます。教職員の働きかけにも改善の余地があります。各学級での指導に加え、保健だより等で睡眠時間の確保の大切さや時間の使い方(TVを見る時間、物事の優先順位など)、体育科の保健学習や養護教諭による保健指導、栄養教諭による食の学習とも関連させながら、規則正しい生活習慣の確立、健康への意識を高めていきます。また、長期休業明けに「生活見直し週間」を設定し、すこやかチャレンジのプリントで実態把握をすることで、家庭と協力しながら、児童が生活リズムを整えるよう全教職員が意識して指導を行っていきます。

「休み時間に外に出て体を動かして遊んでいる」については、コロナ禍の影響により運動場で遊ぶ時間や内容に制約があるため、外で体を動かして遊ぶことができないと感じる児童が多くなっているようです。感染予防をしながら、体を動かして遊ぶことが増えるよう働きかけを続けていきます。更に、様々な遊びに挑戦する「ジャンプアップ週間」も活用しながら、児童の体力向上をめざした取組を進めていきます。加えて、体を動かして遊ぶことが成長に及ぼすよさも伝えていきます。

4 その他



「地域・PTA行事への参加」については昨年度に引き続き、様々な地域・PTA行事が中止となっているため、児童の実現度は全体的に低くなっています。保護者の結果からは、参加することは重要と考えてはいるが、コロナ禍の影響があったり、時間的な余裕がなかったりすることで参加できていないという実態もうかがえます。年に数回でも参加できる機会があれば、地域のたくさんの人々とつながることができます。災害等、何かが起こった時にお互いに助け合える絆づくりを普段からしておくことも大切だと考えます。そういった視点からも、今後、行事が再開されましたら、学校ホームページや学校だよりを通して広報に努め、参加を呼びかけます。

「学校からもらうプリントをその日のうちにおうちの人に渡している」では、CD回答が学年が上がるにつれて増加しています。このことから、学年が上がるにつれてルールになっていることが伺えます。学校からのおたよりなどが配布された日に、確実にご家庭に届くように、普段から持ち物を整理整頓する習慣付けを今後も行っていきます。また、学校ホームページについては、タイムリーに更新して情報発信に努め、家庭や地域の学校教育活動への理解を得るとともに、家庭や地域と連携した取組を更に進められるようにと考えています。

◆学校運営協議会評価委員会より 一改善に向けて話し合いましたー

- 登下校時の見守り活動の際には、以前は挨拶をしても返してくれなかった子たちが挨拶を返してくれたり、にっこりしてくれたりする。昨年度と比べ、挨拶ができる子が増えているように感じる。高学年になると恥ずかしさから挨拶できないこともあるのかもしれないが、話しかけると笑顔で返事をしてくれるので、やさしい心が育っていると感じる。慣れれば挨拶をしてくれるので、大人が根気強く働きかけていくことが大切だと思う。
- 黄帽子をかぶって登下校することは、安全面でとてもよいことである。車を運転している際も、黄帽子が見えると安全に気を付けようと思えるので、今後も引き続き続けていってほしい。西京極小学校の児童は1年生から6年生まで全員が黄帽子をかぶっているのも、とてもよいことだと思う。
- 見守り隊の方々は、登校時の通学路に危険(工事や駐車車両など)を見つけるとすぐに駆けつけて下さり、場合によっては警察への通報もしてくださっている。学校ではたくさんの方々によって安全を守られていることを子どもたちに伝えるとともに、横断歩道や十字路等ではしっかり止まって周りを見ることを引き続き指導していく。
- 朝の登校時とは違い、下校時の子どもたちはとても眠やかな様子である。歩道や路側帯を広がって歩いたり、交通量が多い道路を走って帰ったりする姿を見かけることがある。通学路を大きな車が走っていることも多いので、安全に下校できるよう見守りを行ったり、子どもたち自身が気を付けて行動できるように指導をしたりしていく必要がある。
- 子どもは大人のことをよく見ている。挨拶や交通ルールを守ることなど、大人は子どもの手本となるように、日々の言動に気をつけていきたい。
- よい生活習慣を身につけるためには、日々の取組が大切である。習慣化できるように様々な面でサポートをしていきたい。

◆学校評価アンケート ー 振り返りを通してより良い教育活動へ ー

京都市教育委員会生涯学習部より発行されている「コミュニティ・スクール通信@京都」にも掲載されているように、子どもたちの学校生活をよりよいものにするためには、学校・家庭・地域が互いに高め合う双方向の信頼関係を構築することが何よりも大切です。そして、三者が「子どもたちのために、自分はどうなことができるだろうか。」という意識をもって、それぞれが教育活動に参画し、子どもを育むための取組を進めていくことが大切です。

子どもたちへの教育は、学校だけで行うものではありません。「PLAN」(教育計画)⇒「DO」(教育活動)⇒「CHECK」(点検【評価】)⇒「ACTION」(修正・改善)のサイクルの中で、教職員は、「教職員アンケート」を通して自己の取組について振り返っております。同様に、保護者の方にもアンケートを通して「自分はどうしているだろうか。」と振り返って考えていただき、今後のより良い教育活動に生かしていただく機会として、「保護者アンケート」を実施しております。ご理解いただきますようどうぞよろしくお願いいたします。